

## 第32回

# 日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2017年12月

タイトルをクリックして  
本文へジャンプ

Adobe社が提供する  
Adobe Acrobat Reader  
で閲覧してください。

## 目次

1. 新たな転換を迎える「訪日外国人旅行」の宿泊施設について  
—「農泊」と「住宅宿泊事業法」の現代的意義について—  
出口 高靖 (新潟経営大学観光経営学部) 1
2. 観光プロモーションの効果推定に関する一考察 5  
古屋 秀樹 (東洋大学国際観光学部) / 野瀬 元子 (静岡英和学院大学人間社会学部)  
崔 瑛 (静岡英和学院大学人間社会学部)
3. 地域主導型観光から見た日本の観光政策の変遷と推進組織の課題 9  
清水 苗穂子 (阪南大学国際観光学部) / 海津 ゆりえ (文教大学国際学部)  
森重 昌之 (阪南大学国際観光学部) / 九里 徳泰 (相模女子大学学芸学部)
4. テキストマイニングを用いた観光ガイドブック・パンフレットの内容分析 13  
—沖縄県北部地域における地域連携の向上をめざして—  
中園 亜依 (東京都総務局) / 大谷 健太郎 (名桜大学国際学群)
5. イギリスにおける観光振興組織のパートナーシップ 17  
—ローカル・エンタープライズ・パートナーシップ (LEP) との連携—  
野瀬 元子 (静岡英和学院大学人間社会学部) / 古屋 秀樹 (東洋大学国際観光学部)  
崔 瑛 (静岡英和学院大学人間社会学部)
6. 持続可能な地域社会の運営に資するエコツーリズムの課題 21  
—エコツーリズム推進法認定地域調査に基づく試論—  
海津 ゆりえ (文教大学国際学部) / 真板 昭夫 (北海道大学観光学高等研究センター)
7. 欧米型 DMO のマネジメント特性の日本への適用 25  
—日本の観光振興組織構造の実態分析—  
高橋 一夫 (近畿大学経営学部)
8. 潜在的訪問客によるリスクを内包する自然資源を持つ観光地の  
画像の評価と彼らの個人特性の関係 29  
—活火山「桜島」を調査対象物として—  
中俣 良太 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科)  
直井 岳人 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科)  
飯島 祥二 (琉球大学大学院観光科学研究科)
9. アジア旅行者による商店街でのショッピング行動に関する考察 33  
—函館駅前函館朝市商店街を事例に—  
邸 雅瓊 ((株)ライヴ環境計画)

10.	中東市場における訪日プロモーション事業の方向性 石崎 雄久 (日本政府観光局 (JNTO))	37
11.	フードフェスティバルにおける訪日外国人集客プロセスの研究 —「17食博覧会・大阪」を事例に— 山川 雅行 (大阪観光大学観光学部)	41
12.	「地方創生」と「テレワーク」の推進を「在宅通訳者」を活用して 富吉 光則 ((株)ランドアバウトエービーアイ)	45
13.	ワインツーリズムとフードツーリズムの一体化に関する考察 桃井 謙祐 (信州大学)	49
14.	観光分野における「おもてなし」現象への考察 —狩野モデルを補助線として— 森 直人 (法政大学大学院政策創造研究科)	53
15.	東京近郊観光地におけるインバウンド観光実態 —高尾山を対象として— 屋代 雅充 (東海大学観光学部) / 栗原 剛 (東海大学観光学部) 少路 凜太郎 (日本通運 (株))	57
16.	フルパッケージ型海外パッケージツアーの継続的販売と 旅行者の経験・知識・スキル 野口 洋平 (杏林大学外国語学部)	61
17.	小規模宿泊業の労働生産性向上に向けて —鳥羽市宿泊業調査結果から— 井門 隆夫 (高崎経済大学地域政策学部) / 清水 清嗣 (鳥羽商工会議所)	65
18.	観光地域づくり人材育成の手法に関する考察 —観光産業と大学の連携プログラムの実施から— 田中 智麻 (名古屋学院大学経済学部)	69
19.	サービス人材の業務能力と問題解決スタイルに関する研究 —日本旅館の接客従業員を中心に— 姜 聖淑 (帝塚山大学経営学部)	73
20.	島嶼地域における観光開発に対する住民行動の探索的研究 —沖縄県を中心に— 宮城 博文 (大阪商業大学総合経営学部)	77
21.	観光まちづくりにおけるエリアのマネジメントに関する基礎的考察 —AMMAの観点から— 西井 和夫 (流通科学大学経済学部) / 古屋 秀樹 (東洋大学国際観光学部) ロマオ ジョアオ (北海道大学大学院経済研究科)	81
22.	宿坊の現代的変容 —「宗教コーディネーター」の役割に注目して— 吉田 全宏 (大阪市立大学大学院文学研究科)	85
23.	レオンチェフ乗数による観光の経済効果の推計 —沖縄県を事例に— 金城 盛彦 (琉球大学観光産業科学部)	89

24.	国内における宿泊施設型ゲストハウスの実態に関する考察 — 2017年に実施した質問紙調査を基に— 石川 美澄 (共栄大学国際経営学部／北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)	93
25.	十和田湖と奥入瀬溪流の来訪者特性比較 齋藤 雅晃 (岩手大学農学部)／山本 清龍 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	97
26.	観光まちづくりにおけるイノベーションの源泉 — ゆふいん料理研究会からの一考察— 米田 誠司 (愛媛大学法文学部)／大澤 健 (和歌山大学経済学部)	101
27.	観光者の歩行速度に着目した回遊行動の分析 — 香川県女木島を事例として— 松尾 圭悟 (香川大学大学院経済学研究科)	105
28.	訪日中国人旅行者の旅行記を用いた旅行情報抽出方法の基礎的分析 宋 紫龍 (東洋大学大学院国際地域学研究科)／古屋 秀樹 (東洋大学国際観光学部)	109
29.	富士山登山者による富士山保全協力金への支払意志に関する実証分析 吉田 謙太郎 (長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科)	113
30.	北アルプスと富士山における登山者の登山目的や属性等の相違 小林 昭裕 (専修大学経済学部) ジョーンズ トマス (立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部)	117
31.	ファンの宿泊を伴う「遠征」行動とファンツーリズム 幸田 麻里子 (流通経済大学社会学部)／臺 純子 (比治山大学現代文化学部) 崔 錦珍 (九州国際大学現代ビジネス学部)	121
32.	中国人訪日客の観光行動の多様性に関する研究 — 研修旅行と個人手配旅行の事例を中心に— 王 螢雪 (中部大学大学院国際人間学研究科)	125
33.	奈良を訪れた旅行者の観光経験 — 観光写真調査法による把握— 林 幸史 (大阪国際大学人間科学部)	129
34.	高関与旅行者の関与と行動動機 — 佐賀県唐津市「ユーリ!!! オン アイス」の聖地巡礼を事例として— 大方 優子 (九州産業大学商学部)／岩崎 達也 (九州産業大学商学部) 津村 将章 (中京大学経営学部)	133
35.	メモラブル・ツーリズム・エクスペリエンシーズ — 「旅行前」の記憶に残る経験— 田中 祥司 (神戸山手大学現代社会学部)	137
36.	戦争祈念施設とツーリズム — 訪問者による目的や行動の違い— 永井 孝充 ((株)ジャルバック)	141

37.	観光目的地の商業施設における観光的特性に関する研究 —沖縄県那覇市国際通り周辺における観光者と地元商業者による 評定の関係性を通して—	145
	仲泊 華希 (琉球大学観光産業科学部) / 山城 健悟 (琉球大学観光産業科学部) 上原 明 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) / 飯島 祥二 (琉球大学観光産業科学部)	
38.	白神山地ビジターセンターの展示に対する来館者の注視行動と意識	149
	佐々木 啓 (岩手大学農学部) / 山本 清龍 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	
39.	国内クルーズ観光客の回遊行動に関する試行的分析	153
	—京都舞鶴港における GPS ロガー・質問紙調査のデータから— 佐藤 充 (福知山公立大学地域経営学部) / 江上 直樹 (福知山公立大学地域経営学部)	
40.	LCC 利用訪日外国人観光客の旅行行動について	157
	—関西国際空港利用者に着目して— 稲本 恵子 (大阪観光大学観光学部)	
41.	中部地方の外国人バスツアー客・個人客の特性と観光行動に関する一考察	161
	澁谷 鎮明 (中部大学国際関係学部)	
42.	「雲仙キャンプ」と「キャンバスバンガロー」について	165
	—新たな知見に基づく実態の解明— 上田 卓爾 (ホリスティックライフ研究所)	
43.	「特撮ツーリズム」の誕生と変遷	169
	二重作 昌満 (東海大学大学院文学研究科) / 田中 伸彦 (東海大学観光学部)	
44.	A. シュッツの概念による真正性の批判的継承	173
	—ヒンドゥー教聖水文化を事例として— 中鉢 令兒 (北海商科大学商学部)	
45.	旅行商品におけるパワースポット	177
	—“スピリチュアルなもの”の商品化は可能か— 鈴木 涼太郎 (獨協大学外国語学部)	
46.	ダークツーリズムと博物館	181
	—戦争と平和の視点から— 井出 明 (追手門学院大学)	
47.	デスティネーションマネジメントフレームワーク (DMF) の概要	185
	—ニュージーランドにおける国立公園管理／経営システム— 田中 伸彦 (東海大学観光学部) / 二重作 昌満 (東海大学大学院文学研究科) ショウ テイ (東海大学大学院文学研究科)	
48.	クルーズ船寄港地の選定手法に関する研究	189
	—北海道を対象とした寄港魅力度の算定— 寺口 敬秀 (日本大学理工学部) / 桜井 慎一 (日本大学理工学部) 野口 翔 (日本大学大学院) / 大津 俊裕 (財務省関東財務局)	
49.	観光地の誕生・成長・発展と衰退に関する諸理論	193
	—理論的枠組みの形成に向けて— 安島 博幸 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部)	

50.	スピリチュアルツーリズムの場所性と観光体験 —高野山の宿坊と韓国のテンプルステイの比較— 尾家 建生 (大阪府立大学観光産業戦略研究所)	197
51.	地域との共生を志向する地元旅行会社の着地型観光に対する 取り組みと課題に関する研究 西成 典久 (香川大学経済学部) / 八木 梨穂 (香川大学大学院経済学研究科)	201
52.	うきはブランドの形成過程に関する一考察 古賀 学 (松蔭大学観光メディア文化学部) / 三浦 知子 (長崎国際大学人間社会学部)	205
53.	日本における農家民泊の普及拡大に向けた考察 —イタリア・アグリツーリズム調査結果から— 山田 耕生 (千葉商科大学) / 藤井 大介 (大田原ツーリズム)	209
54.	千曲川ワインバレーにおけるワインツーリズムの発展可能性 —ワイン産地の発展とワインツーリズムの相互関係— 金子 和浩 (立教大学大学院観光学研究科)	213
55.	まちなか観光に関する一考察 —まち歩き観光とスタンプラリーの事例から— 稲葉 雅子 (東北大学大学院経済学研究科 / (株)たびむすび / (株)ゆいネット)	217
56.	訪日外国人を対象としたホステルの交流機能に関する予備的考察 —東京台東区浅草「ブンカ ホステル トウキョウ」を事例に— 佐藤 郁 (明治大学国際日本学部) / 安江 枝里子 (杏林大学外国語学部)	221
57.	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録の 取り組みと観光客の受け入れ 崔 瑛 (静岡英和学院大学人間社会学部)	225
58.	白川郷における観光地交通対策の継続要因に関する考察 —地域コミュニティ主体による協働の仕組みの視点から— 柏木 千春 (流通科学大学人間社会学部)	229
59.	世界遺産観光とポリティクス —軍艦島の事例から考える— 深見 聡 (長崎大学環境科学部) / 沈 智炫 (長崎外国語大学外国語学部)	233
60.	歴史的町並みの保存と活用 —旧東海道名古屋市有松のまちづくりを事例として— 辻 のぞみ (名古屋短期大学)	237
61.	北海道標津町における地域住民の資源利用をめぐる 観光ガバナンスの実態 森重 昌之 (阪南大学国際観光学部)	241
62.	地域観光に関わる女性の活動と意識 —社会関係資本を軸として— 中子 富貴子 (神戸山手大学現代社会学部)	245
63.	JR 只見線復旧を選択した地域住民の挑戦 —鉄道と共存する地域の再構築— 中原 浩子 (東北公益文科大学公益学部)	249

64.	着地型観光の手法から地域連携交流事業としての展開へ向けた考察 —地域活性化と観光事業の地域レベルでのDMO形成— 金井 萬造 (立命館大学経済学部) / 峯俊 智穂 (追手門学院大学地域創造学部)	253
65.	来訪者と地域住民の関係性における観光ボランティアガイドの役割 —観光ボランティアガイド団体に対するアンケート調査からの考察— 吉田 常行 (大阪府立大学大学院経済学研究科)	257
66.	和束町を茶源郷へ導く新たな潮流について —若い移住者による和束町変容のメカニズム— 望月 徹 (広島県大阪情報センター)	261
67.	廃校施設を拠点とした観光まちづくりの可能性と課題 川澄 厚志 (金沢星稜大学経済学部)	265
68.	小学校と連携した着地型観光が地域づくりに与える影響の考察 —よそ者としての旅行会社と小学校教員の役割— 原 香菜子 (名古屋大学大学院環境学研究所) / 高野 雅夫 (名古屋大学大学院環境学研究所)	269
69.	沖縄県における八景観光の取り組みの現状と課題 —浦添八景の制定を事例として— 朴 在徳 (名桜大学国際学群) / 李 聖恵 (釜山大学校佔畢齋研究所)	273
70.	まち歩き観光に参加するとは何か —長崎さるく10年間の変化から— 金 明柱 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)	277
71.	商業者主導の観光ボランティアガイド組織における営利性と非営利性 藤田 健 (山口大学経済学部)	281
72.	「和食ガストロノミー」による訪日旅客を地方誘致する視点 —熊野の訪日外国人アンケートの分析— 近藤 政幸 (新潟経営大学観光経営学部)	285
73.	外国人観光客における歴史的予備知識の実態について —本能寺を事例として— 山下 裕明 ((学)大和学園キャリアールホテル旅行専門学校)	289
74.	インタープリテーションのスキルに関する研究 —北海道の登山ツアーを視点として— 唐箕 環 ((有)環エディットオフィス)	293
75.	米国におけるHAMの教育プログラムに関する研究 —コーネル大学を事例に— 金 振暁 (帝京大学経済学部) / 渡邊 浩良 ((株)JTB 総合研究所) 具 敏靖 ((株)JTB 総合研究所)	297
76.	インターンシップにおけるクラウドサービス型コミュニケーション —インターンシップのためのコミュニケーションアプリの機能と 有用性に対する検証— 山田 祐子 ((株)井門観光研究所 / (株)ツーリズムワイズラボ)	301

77.	ローカル地域の国際観光地化に伴う英語コミュニケーション力の変化 藤田 玲子 (東海大学国際教育センター) デルガド ロドルフォ (東海大学国際教育センター)	305
78.	大学の教育資源を活用した観光ボランティアガイドの スキルアップに寄与する講座の実施とその役割 —「大阪文化ガイド+講座」への評価を通じて— 天野 景太 (大阪市立大学文学部)	309
79.	大学生の主体的学びと地域人材育成のための地域連携学習へ向けた考察 —和歌山県田辺市本宮町を事例として— 峯俊 智穂 (追手門学院大学地域創造学部)	313
80.	観光地域における人材育成プログラムの検討 —いしかわ観光創造塾の事例— 種村 聡子 (北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科) 敷田 麻実 (北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科)	317
81.	生態系を活用した防災・減災と観光の役割に関する基礎的研究 丸谷 耕太 (金沢大学人間社会学域)	321
82.	観光地のレジリエンシー向上に向けた事業継続計画 (BCP) に関する研究 —観光地 BCP 策定に向けた留意点の考察— 朝倉 はるみ (淑徳大学経営学部)	325
83.	ダークツーリズム・近代・リスク —自然災害と観光の結びつき— 齋藤 千恵 (鈴鹿大学国際人間科学部)	329
84.	熊本地震における旅行者のリスク認知と九州旅行実施への 影響に関する分析 牧野 博明 ((公財)日本交通公社) / 横山 秀司 (九州産業大学大学院経済・ビジネス研究科) 室岡 祐司 (九州産業大学商学部)	333
85.	2016 年熊本地震による九州観光への影響 (第 2 報) 横山 秀司 (九州産業大学大学院経済・ビジネス研究科) / 室岡 祐司 (九州産業大学商学部) 牧野 博明 ((公財)日本交通公社)	337
86.	石巻市における東日本大震災後のダークツーリズムの実態と課題 佐々木 薫子 (岩手大学農学部) / 山本 清龍 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	341
87.	災害復興における観光推進組織・旅行者の役割と機能 —2016 年熊本地震「九州ふっこう割」を事例として— 室岡 祐司 (九州産業大学商学部) / 横山 秀司 (九州産業大学大学院経済・ビジネス研究科) 牧野 博明 ((公財)日本交通公社)	345
88.	日本における災害ボランティアツーリズムの展開 下村 真代 (立教大学大学院観光学研究科)	349
89.	観光による震災復興における地域コミュニティの構造分析 —宮城県南三陸町入谷地区を事例として— 樋口 葵 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)	353
90.	ケベック州モンリオールの観光資源についての一考察 羽生 敦子 (立教大学観光研究所)	357

91. 中国人の自然公園地域への旅行行動に関する実証分析 361  
安 可 (長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科)  
吉田 謙太郎 (長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科)
92. Assessing Inbound Tourism Development at Mitarai District 365  
in Kure City, Hiroshima through Employing a Monitoring Tour  
USUI Rie (Graduate School of Integrated Arts and Sciences, Hiroshima University/  
TAOYAKA Program)  
ANINDITA Maya Julungwangi (Graduate School of International Development and  
Cooperation, Hiroshima University/TAOYAKA Program)
93. ハラルに関する先行研究とハラル・ビジネスの現状 369  
—ムスリム・インバウンドを対象とした「ハラル」について—  
杉山 維彦 (高崎商科大学短期大学部)
94. 山岳観光に見る日本人旅行者の実態と今後のマーケティング 373  
—フランス・シャモニーの事例—  
埴 泉 (産業能率大学経営学部)
95. 温泉地におけるヘルスツーリズムの推進要因と課題 377  
—大分県と福岡県の事例分析より—  
堀 桂子 (立命館アジア太平洋大学立命館アジア太平洋研究センター)  
ヴァファダリ カゼム M (立命館アジア太平洋大学アジア太平洋研究科)
96. 外国人観光客への AR 機能を活かした情報発信手法の開発に向けて 381  
—北海道・知床での調査結果から得られた示唆—  
千葉 里美 (札幌国際大学観光学部) / 丹治 和典 (札幌国際大学観光学部)  
川名 典人 (札幌国際大学観光学部)
97. 外国人ネットワークを活かしたインバウンド観光振興策 385  
—糸魚川における言語対応と課題—  
本田 量久 (東海大学観光学部)
98. 熊本地震発生から一年経過した阿蘇地域における創造的復興 389  
町田 怜子 (東京農業大学地域環境科学部)
99. 訪日教育旅行促進のための持続可能な受け入れ基盤に関する考察 393  
宍戸 学 (横浜商科大学商学部)
100. 外国人避暑地日光中禅寺湖畔 397  
手嶋 潤一 (元栃木県庁) / 小島 喜美男 (栃木県文化財保護指導委員)
101. 南チロルのルーラルツーリズムの発展において農村組織が果たした役割 401  
五艘 みどり (帝京大学経済学部)
102. 台湾における日本史跡を活用した観光イベントに関する考察 405  
—通霄神社七夕祭—  
葛西 洋三 (静宜大学外語学院)
103. 旅行会社の Web サイトは何を示すことが求められるのか? 409  
—Web サイトにおける企業情報の開示とデザインに注目して—  
川久保 惇 (立教大学現代心理学部) / 小口 孝司 (立教大学現代心理学部)



104.	埋蔵文化財（遺跡）の活用における地方公共団体（行政）の役割への考察 —文化財の「存在」と「利用」という2者の思考に着目して—	413
	和泉 大樹（阪南大学国際観光学部）	
105.	国際会議誘致における開催地選定基準に関する研究	417
	岩本 英和（城西国際大学観光学部） 原 忠之（セントラルフロリダ大学ローゼン・ホスピタリティ経営学部） 松尾 徳朗（首都大学東京産業技術大学院大学）	
106.	屋久島における観光発展と地域への影響	421
	富川 久美子（広島修道大学商学部）	
107.	成田空港、国内LCC就航から5年で見えた変化と問題点	425
	鳥海 高太郎（帝京大学理工学部）	
108.	観光を通じたマイノリティへの態度の変化 —大阪コリアタウンを例に—	429
	丸山 奈穂（高崎経済大学地域政策学部）	
109.	日本の国内旅行・観光行動は増加したか減少したか —長期統計データによる分析—	433
	伊藤 薫（岐阜聖徳学園大学経済情報学部）	

---

## 第32回 日本観光研究学会全国大会 学術論文集

2017年12月

領価 3,000円

発行 日本観光研究学会

〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-16-19 コンフォルト池袋106

TEL: 03-6709-2906

FAX: 03-6709-2907

URL: <http://jitr.jp/>